

日本陸水学会甲信越支部会

第 44 回研究発表会プログラム

2018 年 12 月 1 日（土）～12 月 2 日（日）

発表会場: お酒のお宿 喜泉

懇親会場: お酒のお宿 喜泉

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月町音澤 1387

TEL: 0765-62-1321 HP: <http://www.gkisen.com/>

日 程

月 日	時間	行事等
12月1日(土)	13:00 - 14:00	受付 ^{1,2)}
	13:30 - 14:00	ポスター掲示 ¹⁾
	14:00 - 17:30	口頭発表 (1)(2)(3) ²⁾
	17:30 - 18:00	幹事会
	18:10 - 18:40	総会
	19:00 - 21:00	懇親会
12月2日(日)	7:00 - 8:50	朝食・チェックアウト
	9:00 - 11:00	口頭発表 (4)(5) ²⁾
	11:10 - 11:50	ポスター予告
	11:50 - 12:50	昼食 ³⁾
	12:50 - 14:20	ポスターセッション ¹⁾

- 1) **ポスター発表**の方は、受付後、直ちにポスターを掲示してください。
ポスターの大きさは横 87cm、縦 180cm 以内での作成をお願いします。壁や間仕切りパネル上に直接、貼ってはがせる粘着テープで接着していただきます。
演題番号が奇数の方はポスターセッションの前半 45 分、偶数の方は後半 45 分、各自のパネルの前に立ち質問に答えてください。
2 日目のポスター予告は 1 人 2 分以内(時間厳守)をお願いします(パワーポイント使用可、その場合は開会前に受付へプレゼンテーションのファイルを提出してください)。
ポスターの撤去は、ポスター発表終了後すみやかにお願いします。
- 2) **口頭発表**の方は、開会前に受付へプレゼンテーションのファイルを提出してください。
進行の妨げとなりますので、USB フラッシュメモリー等、ウイルス感染のないことを事前にご確認下さい。また、受付にて動作確認を行ってください。口頭発表の時間は、発表 10 分＋質疑 2 分の計 12 分間（＋交代時間 2 分）です。（1 鈴 8 分、2 鈴 10 分、3 鈴 12 分）
- 3) **食事**は予約制です。昼食を受け取る際に、受付で配布された食券を提示してください。

発表プログラム

12月1日（土）

開始時刻 14:00

開会の言葉（芹澤 如比古 副会長）

口頭発表（1） 座長：緑川 昭太郎（新潟大学大学院）

時間係：坪田 和真 マイク・照明係：高岡 遼・藤木 雄大

14:10 O-1 諏訪湖におけるリンの湖内循環に関する研究

○市川 雄貴・吉原 茜・宮原 裕一

（信州大学 理学部）

14:24 O-2 水生植物による多環芳香族炭化水素類の代謝と抱合化

○佐藤 丈暉・笠原 由博・宮原 裕一

（信州大学 理学部）

14:38 O-3 諏訪湖の生態系変化解明に向けた一次生産量推定

○高見 伊織・宮原 裕一

（信州大学 理学部）

14:52 O-4 下水処理排水が付着藻類の一次生産に及ぼす影響

○中城 由佳里・宮原 裕一・平林 公男

（信州大学 理学部）

口頭発表（2） 座長：渡邊 亮（山梨大学大学院）

時間係：東 祐之介 マイク・照明係：奥田 なほ・松井 悠一郎

15:16 O-5 諏訪湖の水草分布と底質の性状

○古郡 千紘・吉原 茜・宮原 裕一

（信州大学 理学部）

15:30 O-6 ミジンコの形態変化に及ぼす金属と殺虫剤の個体群レベル影響

○福澤 直・坂本 正樹

（富山県立大学 工学部）

15:44 **0-7 野外の複合環境ストレスに対するミジンコの表現型応答**

○和田 凌樹・坂本 正樹

(富山県立大学 工学部)

15:58 **0-8 金属によるミジンコのろ過スクリーン面積の増大への影響**

○横井 秀美・坂本 正樹

(富山県立大学 工学部)

口頭発表(3) 座長：中野 麻衣 (山梨大学大学院)

時間係：小俣 淳一 マイク・照明係：梶原 慎太郎・鈴木 桜子

16:22 **0-9 2011 年諏訪湖の全域貧酸素時における気象傾向の把握**

遠藤 駿・○前田 達紀・豊田 政史

(信州大学大学院 総合理工学研究科)

16:36 **0-10 数値解析を用いた千曲川中流域の淵における**

流れ場が物質輸送特性に及ぼす影響

山本 遼哉・○山下 拓朗・豊田 政史

(信州大学大学院 総合理工学研究科)

16:50 **0-11 遺伝的アルゴリズムを用いた諏訪湖の密度成層再現のための**

鉛直乱流拡散係数の評価

○藤本 真志・豊田 政史

(信州大学 工学部)

17:04 **0-12 イタセンバラ生息環境の水理・水質特性に関する基礎研究**

○辺 冠臻・呉 修一・高橋 剛一郎

(富山県立大学 工学部)

12月2日(日)

開始時刻 9:00

口頭発表(4) 座長: 横内 雅大(信州大学大学院)

時間係: 佐藤 丈壘 マイク・照明係: 高見 伊織・中城 由佳里

9:00 O-13 山梨県の水田域における水草・大型藻類植生の時期的変化

○渡邊 亮・芹澤(松山) 和世・芹澤 如比古
(山梨大学大学院)

9:14 O-14 千代田湖の水草・大型藻類と環境の周年変化

○東 祐之介・原野 晃一・渡邊 亮・中村 誠司・芹澤(松山) 和世・芹澤 如比古
(山梨大学 教育学部)

9:28 O-15 水草ヒシ *Trapa japonica* 浮葉の分解に伴う藍藻成長阻害物質の浸出

○土屋 俊雄・船山 啓・丸山 あい・二木 功子・朴 虎東
(信州大学 理学部)

9:42 O-16 田沢湖におけるウグイの窒素同位体比を用いた食性解析

○武藤 悠吏・力石 嘉人・河 鎮龍・戸田 任重・朴 虎東
(信州大学 理学部)

口頭発表(5) 座長: 土屋 俊雄(信州大学大学院)

時間係: 武藤 悠吏 マイク・照明係: 奥田 千遥・川上 恭平

10:06 O-17 極東アジアに生育する水生植物アギナシの系統地理学的研究

○坪田 和真・陶山 佳久・綱本 良啓・松尾 歩・志賀 隆
(新潟大学大学院 自然科学研究科)

10:20 O-18 水生植物相調査において市民参加型調査はどこまで有効か

○高岡 遼・首藤 光太郎・横川 昌史・志賀 隆
(新潟大学 教育学部)

10:34 O-19 コウホネ属コウホネ節(スイレン科)の系統地理学的研究

○藤木 雄大・志賀 隆
(新潟大学 教育学部)

10:48 O-20 トビケラ目における種ごとの二次生産力の推定

○大塚健斗・松田暢啓・石川史弥・平林公男
(信州大学大学院 総合理工学研究科)

ポスター予告 座長：山下 拓朗（信州大学大学院）

時間係：前田 達紀 マイク・照明係：尾村 駿光・小林 亮介

11:10－11:50 ポスター番号順に、研究内容の紹介をしていただきます。

パワーポイントを用いても結構ですが、事前にファイルを提出してください。

1件2分以内でお願いします。また、質疑の時間はありません。

12:50－14:20 **P01-P12*** ・ 昼食（11:50-12:50）

*コアタイム 奇数番号 12:50-13:35 偶数番号 13:35-14:20

※はポスター賞審査対象外

P-1 珪藻類・藍藻類群集に及ぼす Si/P 比の影響

ーマイクロプレート・カップ培養実験による検討ー

○横内 雅大・宮原 裕一

（信州大学大学院）

P-2 水素添加型微生物排水処理の検討

○小俣 淳一・亀井 樹・風間 ふたば

（山梨大学大学院 医工農総合教育部）

P-3 水素酸化脱窒リアクターによる窒素除去能への温度影響

○梶原 慎太郎・亀井 樹・風間 ふたば

（山梨大学 生命環境学部）

P-4 凍結乾燥による窒素除去用微生物製剤の作製とその評価

○鈴木 桜子・亀井 樹・風間 ふたば

（山梨大学 生命環境学部）

P-5 水素酸化脱窒反応を用いた小型水処理装置の作製

○福田 蒔太・亀井 樹・風間 ふたば

（山梨大学 生命環境学部）

P-6 水処理用リアクター構成微生物による PHA 生成に関する基礎検討

○渡邊 春佳・亀井 樹・風間 ふたば

（山梨大学 生命環境学部）

P-7 潜水調査で明らかにされた河口湖の沈水植物と車軸藻類の垂直分布

○中村 誠司・渡邊 亮・松井 悠一郎・芹澤（松山） 和世・芹澤 如比古

（山梨大学大学院）

P-8 河川水中有機汚染物質の多成分一斉分析による調査

○柴博夢・勝山大地・酒井美月

（長野工業高等専門学校）

P-9 庄川右岸水系における藍藻類アシツキの分布状況と環境要因

○澤本 誠二・奥川 光治

（富山県立大学 工学部）

P-10 富山新港の道路塵埃に含まれる多環芳香族炭化水素の分布特性

○栃本 諒太・奥川 光治

(富山県立大学 工学部)

P-11 富山新港の道路塵埃に含まれる金属類の分布特性

○長面 和・奥川 光治

(富山県立大学 工学部)

P-12 環境ストレスに対するミジンコの表現型応答と Cu 曝露による攪乱

○福島 侑樹・時下 進一・坂本 正樹

(富山県立大学大学院 工学研究科)

P-13 ヒシ由来の化学物質によるミジンコの個体群動態への影響

○西村 親良・石母田 誠・奥川 光治・坂本 正樹

(富山県立大学大学院 工学研究科)

**P-14 Analysis of biological interaction using DNA technology in aquatic microbial food web:
functional approaches to rotifer community categorized by trophic structure**

○Hye-Ji Oh・Kwang-Hyeon Chang

(Kyung Hee University)

P-15※ 福島潟の珪藻類

○伊藤 章・安部 信之・帆苅 信・佐久間 昌孝

(新潟河川生態研究グループ)

P-16※ 諏訪湖に潜む活性物質-ヒシ抽出物質がミジンコに及ぼす影響-

○石母田 誠・坂本 正樹・宮原 裕一

(信州大学 理学部)

P-17※ 希少水草ガシャモクが発見された池(青森県つがる市)の水生植物相とその特徴

○首藤 光太郎・山ノ内 崇志・加藤 将・山岸 洋貴・志賀 隆

(新潟大学 教育学部)

P-18※ 福島潟(新潟県)の陸水生物相 3 魚類

○松本 史郎・佐藤 豊・富樫 繁春

(新潟河川生態研究グループ)

口頭発表賞・ポスター賞 審査

表彰・閉会の言葉(平林 公男 副会長)

写真撮影

終了時刻 15:10